

第6期麻生区区民会議 第6回企画部会 議事要旨

1 開催日時：平成29年7月10日（月）午後2時55分～午後4時25分

2 開催場所：麻生区役所第5会議室

3 出席者：[委員]

高倉委員、菅野委員、林委員、鈴木（隆）委員

（欠席委員）植木委員、高橋委員

[事務局]

福島担当係長、西倉

4 傍聴者：1名

5 議 事：

（1）専門部会の検討経過報告

ア 麻生区の魅力発掘・発信検討部会

【説明事項】

・林委員から部会の審議内容について報告

（主な意見）

・7月に部会を開催しないので、この後8月・9月とスケジュールが少し大変になる。

→子育てフェスタで何を聞いて行くかや発信の方法、魅力について、議論を深めてはっきりさせて行かないといけない。

・ターゲットは、小学生を持つ子育て世帯と決めたが、まだ詳細は決まっていない。

→小学生を持つ子育て世帯に向けて、広く浅く発信する方法としては小学校との連携がある。小学校との連携や小学校でどのような地域協力をしているかを関連させながら、親世代にこの小学校に入れて良かったと思ってもらえれば、麻生区を好きになってもらうことにも繋がる。

・子育てフェスタの前に部会はあるのか？場合によっては、小部会を開催するのか？

→8月、9月と2回部会を予定している。直前の作業も考えないといけない。

イ 市民活動・絆づくり部会

【説明事項】

・鈴木委員から部会の審議内容について報告

（主な意見）

・どんなもんじゃ祭りはどういうものなのか？

→自治創造フォーラムから派生してできたもので、市民活動団体が多数集まり、市民と交流をするもの。部会で目指していく方向性と同じであるが、麻生区として、継続的に実行していく上で、同じ規模でやるかはまだ分からない。

・フォーラムの中身については、決まっているのか？

→これから具体化していく。

・「市民フォーラム」は、「区民会議フォーラム」とは別という話をしたが、キックオフのイベントを「区民会議フォーラム」でやってみることもできる。

例えば、第1会議室を使い、前でディスカッションし、後ろの方で市民団体の活動紹介というフォーラムもできる。いきなり大きな規模で行うのはどうなのか？

→継続性を考えると、大きなものをぶち上げすぎると、そこで終わってしまう。

規模については、様々な意見が出ているが、部会の状況にあった規模になっていくと思う。

・分野を絞ってやるのか？市民活動は幅広いので、あれもこれもとなってしまう。

→分野を絞るかどうかは分からないが、規模があるので、ある程度参加する団体については、検討していかないといけない。どの団体に声かけを行うか等はまだ決まっていない。

・団体の数と団体の中身、どのような切り口にするか決めていかないといけない。

→市民活動側の対象はまだ話が出ていない。

今後も続けていくには、小規模から始めて、恒例行事にしたい。大きすぎるとテーマの一つである「出会い」が薄まってしまう。

・里山に焦点を絞った「里山フォーラム in 麻生」では、小学生が発表することで親が来て、市民活動団体が周りで発表することで、親に様々な市民団体があることを知ってもらえる。

→やりたいイメージとしては、近い。

対象等については、これから検討するので、何が担い手になる人の心をくすぐるのか、どうやったら人が集まるのかをこれから検討していきたい。

(2) 広報・広聴活動について

ア 区民会議ニュースについて

【説明事項】

・林委員から、区民会議ニュース第2号の発行について説明

(3) 第4回全体会議について

【説明事項】

(全体会議資料について)

- ・事務局から、全体会議に提出する資料について、各部会の報告以外について説明
- ・林委員から、全体会議に提出する魅力の発掘・発信検討部会調査審議状況について説明
- ・鈴木委員から、全体会議に提出する市民活動・絆づくり部会調査審議状況について説明

(主な意見)

<企画部会報告・第6期全体テーマについて>

・企画部会の報告は区民会議ニュースで行うのか？また、全体テーマの報告は誰が行うのか？

→前回の全体会議では、企画部会の報告は区民会議ニュースで行っていた。また、全体テーマについては、第5期は企画部会長が行っていた。

<麻生区の魅力発掘・発信検討部会について>

・当日の報告は、議論の背景等も入れて、もう少し長めにした方がいい。

→「麻生区」の魅力なのか「新百合ヶ丘」の魅力なのかという議論もあったが、最終的に3つ

の魅力に絞ったという説明も入れた方がいい。例えば、「三原色」というフレーズを入れると良いのではないか。

- ・「区民による区外への推奨」となっているが、「推奨」が分かりづらい。

→イメージとしては、「展開」や「発信」だが、元の戦略プランの図に合わせているので、「推奨」を使っている。

→「深いところは各団体が発信」し、区民会議の部会は「入口までの御案内役」という役割であると説明したい。

<市民活動・絆づくり部会について>

- ・平成30年2月頃のキックオフイベントは、なぜこの時期に開催するのか？

間が空きすぎないか？もう少し早くてもいいのではないか？

→青写真を作成するのに時間を要するため、イベント開催は2月を予定している。

また、早めの開催ということで、10月～11月にイベントを開催することも考えられるが、その時期はイベントが多く、参加者の取り合いになる。イベントの差別化も考え、2月頃の開催を目指したい。

- ・区民が地域の担い手の一員である。そういう人を育てていきたいというのがポイントか？麻生区は、趣味の活動が活発であるが、その団体の中でも会計等の役割がある。趣味の会では貢献しているが、それ以上できない人が多い。区民が地域の担い手として活動することを目指しているのか？

→結果として地域に繋がるが、既存の団体が担い手不足に悩んでいるという地域課題もあるので、まずは一人でも多くの人が活動に参加し、仲間ができて、絆ができるという方法で取り組み、団体が活性化すれば、地域づくりになり、参加する人たちは健康寿命が延び、それを見た人たちが参加するということを考えている。

- ・担い手づくりは、運営する側と参加する側どちらにターゲットがあるのか？

→この部会では、活動に参加する「きっかけづくり」。

→第5期でもきっかけづくりについて、検討した。

→全員が担い手になる必要はない。参加するきっかけがないと担い手も増えない。社会貢献に行きつくのは数人でも、きっかけになる機会を作るのは非常に重要だ。どこにどんな人材が隠れているか分からない。

- ・やまゆりの「アクティブシニアセミナー」がこの部会のモデルに近い。

→良いモデルがあるので、それを参考にしていけるとよい。

(4) その他

(主な意見)

<区民会議に寄せられた意見について>

- ・次回の区民会議ニュースで、何らかの回答ができるように検討を行う。

<川崎市共に支え合う地域づくり検討委員会報告書を踏まえた今後の検討について>

- ・どこが検討していくのか？市民を加えてやっていくのか？

→市民文化局の区政推進課でやっているが、現時点で検討方法等の詳細は不明だ。

- ・区民会議ができたときに、市民自治基本条例を市民委員が入り策定した。それに基づき区民会議や市民が参加しての自治を行ってきた。どういう風に見直しをするかは重要だ。
- 議会に説明した際にも市民の意見を聞くようにという意見が出ている。
- ・世の中複雑になったので、いきなり市民が出てきても生活要求をするべきではなく、市民自治であるべきで、一人一人がどのように捉えるか課題が大きい。
- 方向性が出たら、市民文化局の区政推進課が説明に来る。

以 上